

2024年3月25日

一般社団法人 堺市薬剤師会
鈴木会長様

ベルランド総合病院 薬剤部
星 育子

保険薬局研修会（2024年3月23日開催）アンケート結果

1. アンケート回収率

参加人数	17名
回収枚数	17枚
回収率	100%

2. アンケート結果

5段階評価（5. とてもよい 4. よい 3. ふつう 2. わるい 1. とてもわるい）

項目	とてもよい	よい	ふつう	わるい
1. 内容は理解できるものでしたか	9	7	1	0
2. 場所の設定は適当ですか	12	5	0	0
3. 開始時間は適当ですか	9	7	1	0
4. 所要時間は適当ですか	12	3	2	0
5. テーマに関心がそそられましたか	12	5	0	0
6. 講師は適当でしたか	14	3	0	0
7. 今後の業務の中で生かすことができますか	12	4	1	0

希望するテーマなどその他のご意見

- ・乳癌の最新治療について、傾向についても教えていただきとてもありがたかったです。
- ・この時間帯の開催は保険薬局が参加できる時間だと思います。
- ・退院時の情報提供を、退院時の処方内容をお薬手帳に貼って頂いていますので、封書で頂くことは可能でしょうか。ご検討のほどよろしく申し上げます。
- ・本日はありがとうございました。MSWと退院時カンファレンスに参加させて頂き勉強になりました。

今回の研修会では、乳腺センター医師より乳がんの周術期治療がどのように変化してきたのか、特に近年では従来のホルモン療法、抗がん剤治療に加え、様々な分子標的薬が使用できるようになり、遺伝子変異の有無などそれぞれの患者に合わせたテーラーメイドな治療が行われるようになってきています。乳癌診療ガイドライン2022年版をもとに周術期治療の肝である無病生存率と全生存率を延長させるために治療方法が変化していったのか臨床試験を交えながら講演頂きました。

また、薬剤師からは来年度から算定を開始する予定の連携充実加算について、当院での運用の流れについてお伝えし、患者情報の共有方法、保険調剤薬局薬剤師と共有した情報の院内での取扱いについて説明しました。外来でがん化学療法を行うことがスタンダード

になっていますが、乳がんのみならず様々な癌腫で遺伝子変異をもとにした患者個別の治療が主流となってくると、病院スタッフの力だけで安全ながん治療は担保できなくなってきました。外来で安全で質の高い薬物治療を支えていくために、保険薬局の先生方の服薬アセスメント、副作用モニタリングなどのサポートがより一層重要であると感じています。

今後とも何卒ご教示を賜りますようお願い申し上げます。